

スポーツ川越

発行 川越市体育協会



(第8回 川越市生涯スポーツフェスティバルより)

スポーツ活動の推進に向けて

川越市体育協会副会長 河野哲夫



平成23年6月、東日本大震災後の復興に向けた国会審議のさなかに、スポーツ基本法案が成立し、8月に施行されました。「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人の権利」であるとしたことやスポーツ立国の実現と総合的な施策の推進を主旨としていることなど、スポーツ関係者にとって明るい展望を感じさせます。こうしたフォロワーの風を捉え、市体協はじめ各スポーツ団体が地域のスポーツ活性化への役割を再認識し、それぞれの活動を積極的に進めることが大変重要と考えます。

市体協としての今後取り組むべき課題を二つ考えてみました。

一つは、市民のスポーツ活動を一層活性化するためのサポート役としての課題です。

例えば、市民体育祭は、市民のスポーツ活動の進展を目指して、体協が長く実施に関わってきたイベントであり、毎年

2万人を上回る市民の参加を得ています。しかし、人口比率からみると全体の6%に過ぎません。この数値を今後一層伸ばす努力が、市民のスポーツ活動を豊かにしていくことに繋がることであろうと考えます。具体的には、各種目の大会概要を幅広い年齢層の市民に理解いただくための活動や参加者のニーズに応じた大会運営を一層進めることを柱にし、各団体に再検討をいただくなど、より多くの市民の参加が可能な市民体育祭を目指すことであろうと思います。

二つ目の課題として、スポーツを行うための場の確保の問題です。

3年前に旧市民体育館の代替施設に関して請願活動を実施いたしました。今年度は代替体育館建設構想が着実に進行していると聞き及んでいます。早期の実現が望まれ体協としてもスポーツの実践者としての立場から多に意見を申し上げると共に、「だれもが、いつでもどこでも」スポーツを楽しめる環境を整えるための活動を一層推進することが体協の大きな役割であろうと考えます。

第64回 川越市民体育祭

空手

■日程：7月10日（土）
 ■会場：川越運動公園総合体育館
 ■参加者数：1000名



空手は技の習得に励む鍛錬を通じて「人格の完成」を第一の目標にしています。それゆえ君子の武術と言われてきました。当日は日頃の稽古の成果を発揮すべく、参加者全員が張り切って試合に臨みました。

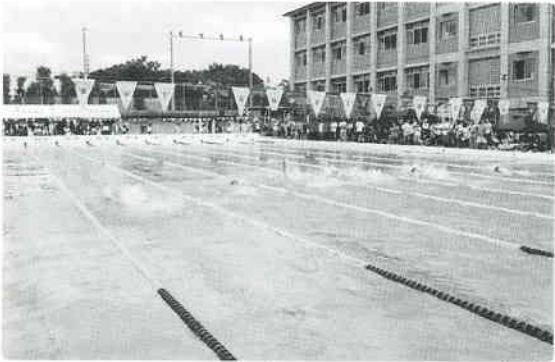
○参加者の声

「対外試合が少ないので緊張感がありました。外部の人との試合は刺激になります」

「平素は一緒にできない人との試合は役に立ちます。もっと上を目指したい」

水泳

■日程：8月28日（日）
 ■会場：県立川越高校
 ■参加者数：1,144名



映画「ウォーターボーイズ」のモデルとしてもおなじみの川越高校で、第64回市民体育祭が開催されました。大会当日は小学生から年配の方まで、1,144名の方が参加し、大変な盛り上がりを見せました。

《一般男子200Mリレー》
 優勝「さくらんぼ」

《一般女子200Mリレー》
 優勝「秀明OB」

その他にも数多くの個人種目や団体種目で熱戦が繰り広げられ、大会は好評を得て幕を閉じました。

バレーボール

■日程：9月19日（祝）
 ■会場：川越運動公園総合体育館
 ■参加者数：58チーム・705名



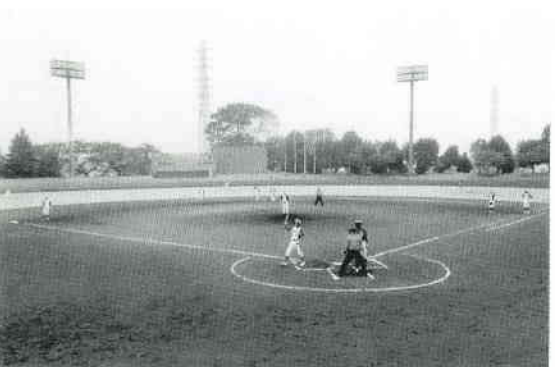
きびしい残暑の中、優勝したチームは30歳代から60歳以上の主婦のメンバーで、生涯スポーツに絵に描いたようでした。

○参加者の声

- ・30代「これからも頑張ります」
- ・40代「チームワークの勝利♡」
- ・50代「頑張った！ 本心に頑張った」
- ・60代「勝った！ 若い人のおかげ」

野球

■日程：10月30日（日）
 ■会場：川越初雁球場
 ■参加者数：235名



今年10月2日（土）川越運動公園会議室で参加チーム11チームで主将会議を行いました。

試合は10月9日（日）から10月30日（日）まで川越初雁球場で開催され、参加人数235名で熱戦が行われました。優勝は月山自治会（少年刑務所）の初優勝で無事終わる事ができました。

○初優勝した月山自治会監督のコメント

「来年も優勝するように頑張りたいと思います」

卓球

■日程：10月23日（日）
 ■会場：川越運動公園総合体育館
 ■参加者数：130名



昨年からの、硬式に加え今人気の高いラージボールを追加しました。結果、参加者も増えており、今後の大会の盛り上がりが見込まれます。

○参加者の声

・親子で参加の遠山さん（お母さん）

「市民体育祭ならではの和気あいあいの中で、8歳の娘とダブルスで参加させていただきました。結果は3位で娘も大喜び合せて貴重な経験も出来楽しい1日でした」

・ラージに参加の新井さん

「ラージと硬式の同時開催は市民大会ならではのことで歓迎です。ラージの楽しさをより多くの方に知っていただきたいですね」

第8回 川越市生涯スポーツフェスティバル (生涯スポーツフェスタ2011)

平成23年11月3日(祝)、川越運動公園を会場として、「第8回川越市生涯スポーツフェスティバル(愛称、生涯スポーツフェスタ2011)」が多数の参加をいただき盛大に開催することができました。全体の概要については以下のとおりです。

【目的】

子どもから大人まで、市民の誰もが気軽にスポーツを体験し、スポーツの楽しさを味わうとともに、心身の健康増進と市民相互の交流を図る。

【主催】

川越市・川越市教育委員会・毎日新聞社

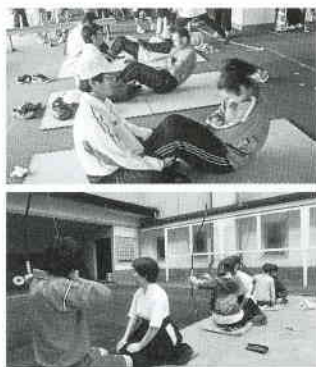
【主管】

川越市生涯スポーツフェスティバル実行委員会



【内容】

「ウォーキングコーナー」
伊佐沼周辺5キロメートルの



コース。全員に完歩証授与。

【綱引きコーナー】

小・中・一般の部、合計68チームが参加。各部門1・2・3・4位に賞状と賞品を授与。

【ふれあいコーナー】

キンボール・バランスボールのニュースポーツを含め、23種類のスポーツを体験。

【体力測定コーナー】

小学生から79歳までの方を対象に実施。20歳以上で全種目測定者に結果表を送付。

【アトラクション】

尚美学園大学チアダンス部・ベリタスによる元気あふれる演技と、東京国際大学吹奏楽団の皆様による子どもから大人まで楽しめる演奏を披露。

【その他】

模擬店、抽選会。



ウォーキングコーナー		綱引きコーナー		ふれあいコーナー	◆参加者数◆
一般	495名	小学生	32チーム(339名)	1,398名	
親子	492名	中学生	24チーム(247名)	体力測定コーナー	
小計	987名	一般	12チーム(144名)		
		小計	68チーム(730名)	320名	
合計 3,435名					

加盟団体紹介

ライフル射撃協会

射撃とは、精密機械と人間の能力を合わせ、その限界を味わうスポーツです。私達は直径0.5ミリの10点を撃ち抜く為、技術の向上に努めています。生涯スポーツとしての活動も行っており、デジタル射撃は所持許可も要らず年齢制限も無く誰でも参加可能な競技です。気軽に楽しめる市民スポーツとして、ライフル射撃の普及、発展に努めております。



剣道連盟

川越市剣道連盟は、発足以来56年をむかえ、200名余りの一般会員や少年剣士たちが川越武道館を中心に稽古を行っています。尚、連盟加入の各剣友会も小、中学校等の施設で稽古に励んでおり、その成果を市民体育祭等、各種(市・県)の大会に出場し挑戦しております。

また、技の上達はもとより、生涯

サッカー協会

スポーツとして剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、大勢の方々が週3回の稽古に汗を流しております。



私達サッカー協会には現在、少年団から社会人まで90チーム約4千人が年間を通じ、練習や各種大会でサッカーを楽しんでいます。今年はまだしこジャパンの活躍もあり、女子サッカーが盛り上がりましたが、協会でも昨年に引き続きなでしこリーグを開催し、女子サッカーの普及にも力を入れています。また指導者講習会や審判講習会を実施しています。



活躍する選手たち

■陸上競技男子
 高階中学校 中村亮介君(2年生)
 県新人体育大会中学陸上の部
 800M 1位 2'・01'・75
 1500M 3位 4'・14'・23



平成23年10月13～14日
 熊谷スポーツ文化公園
 陸上競技場

■今大会の優勝の感激は
 今大会の800Mでは自己ベストを大きく更新しての優勝だったのでとても嬉しかったです。しかし、全国大会に出場できるタイムでは無いので、ここで満足せず次を目指してがんばりたいです。

■平素の練習の心構えは
 「人並みのことをしては人並みの選手にしかなれない」という事を練習のときに思い出し、人よりも多い練習、人よりも質の良い練習を心がけました。

■今後の抱負について
 来年は全国大会出場を目指したいです。そして、さらに上位を目指して、ただ出場しただけとならないようにできる限りがんばりたいです。

■ママさんバスケットボール
 「レッド・ペッパーズ」



菊地ミツ子さんに伺いました。
■チーム結成はいつですか
 昭和54年、32年前です。川越市内では最初のママさんチーム、結成以来家庭婦人を貫いています。

■チーム名の由来は
 ママさんなので料理に由来する名前をと思い、「ぴりっと辛い」チームを目指して付けました。

■チームの構成は
 28歳から60歳まで全員ママさんで約30名。定年なし。私は立てなくなるまで続けたいです。

■練習方法は
 毎週金曜日の午前中にやっています。小さな子どもを連れてくる人もいます。専属コーチはいなくて、全員がプレイヤーです。

■対外試合は
 年間8～10試合で、市内の大会には43歳以上のシニアチームと2チーム出場しています。50歳以上のゴールデンシニア大会は県、全国とあります。60歳以上のプラチナ大会もあります。

■チーム長持ちの秘訣は
 まず楽しむこと。初級の人にも努力して教えてレベルをだんだん高めていくと楽しくなります。そして全員が試合に出られるように心がけています。たまには食事をしたり、飲んだりしています。

■生涯スポーツを目指している市民にひとこと
 健康的に暮らすために、趣味、好きなスポーツを見つけて続けることが良いと思います。



連盟・協会 問い合わせ先一覧

種目	連絡責任者	電 話
野 球	和田昌男	
卓 球	牧野保代	
ソフトテニス	根岸 督	
バレーボール	天沼 忠	
バスケットボール	加藤 智哉	
サ ッ カ ー	坂代 暁生	
柔 道	及川 誠	
剣 道	内藤 常夫	
弓 道	堺 守	
空 手 道	村上 信孝	
陸 上 競 技	岩瀬 善彦	
水 泳	佐藤 明	
ス キ ー	宮本 一彦	
クレー射撃	小原 征男	
ライフル射撃	西川 仁	
ス ケ ー ト	大貫 了	

種目	連絡責任者	電 話
体 操	大塚 賢一	
小学校体育	岡本 顕二	
中学校体育	増田 剛久	
高等学校体育	山田 みね子	
レクリエーション	小山 久子	
バドミントン	平岡 和子	
少林寺拳法	坂上 宣久	
ソフトボール	加藤 正義	
テ ニ ス	松本 政之	
ボウリング	渡辺 貞夫	
なぎなた	奈良 幸江	
ラグビーフットボール	佐藤 紳也	
ゲートボール	岩上 隆生	
グラウンドゴルフ	本居 政明	
ダンススポーツ	中野 の廣司	